

3. ノミ・ダニの駆除

- ★犬舎など犬の周囲の環境を清潔にしてノミ、ダニ等の発生源を断ちましょう。
- ★ノミは背、腹、尾の付け根によく発生します。
- ★駆除には、かかりつけの動物病院で投薬等の処置をしてもらうことが最も効果的ですが、市販のノミ取りシャンプー、ノミ取り首輪などを利用するのもよいでしょう。
- ★ダニは種類が多く、肉眼では見えにくいものです。ダニの寄生が疑われたら早めに獣医師の診察を受けましょう。
- ★冬期にホットカーペットを使用する場合は、ノミやダニのすみかになりやすいので、ホットカーペットは常に清潔にしておきましょう。

4. 目・耳・爪も気をつけて

- ★目の周囲はいつも清潔にしておきましょう。目ヤニはお湯で湿らせた脱脂綿で取りましょう。
- ★特に長毛種や垂れ耳の犬は、耳の中が不潔になりがちです。綿棒で耳の中の掃除をしましょう。
- ★室内犬や運動量の少ない犬は、月に1度の爪切りをしましょう。爪を切るときは、静脈にかからないように注意しましょう。



子犬の社会化

子犬は、生後8～10週までの間に親兄弟、人から遊びを通して様々なことを学びます。これを子犬の社会化と言います。この社会化がしっかりできていないと他の犬に対して極端に攻撃性が高くなるなど様々な問題を起こす可能性があります。子犬を人に譲ったり、譲ってもらったりする場合は、生後10週位までは親元で育ててしっかり社会化ができてからにしましょう。

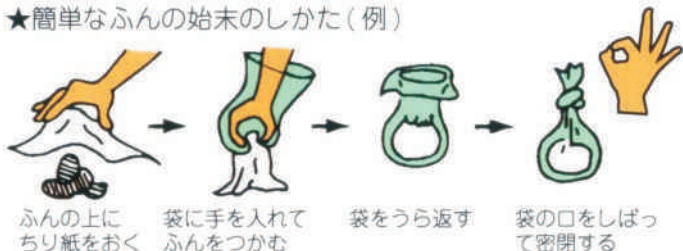
しつけは、社会化の後でも十分に合います。日々の生活の中でゆっくりあきらめずに行いましょう。



散歩のさせ方

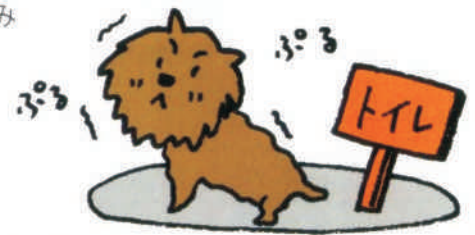
- 犬は、散歩を楽しみにしています。毎日2回ぐらい外に連れて行くとういでしょう。
- 散歩させることで、新陳代謝が盛んになり食欲が増し、筋肉をきたえます。また、犬の気分転換やストレス解消などになり、イライラ、むだ吠えを取り除きます。
- 散歩は、必ず犬を押さえられる人が連れて行ってください。
 - 犬の好き勝手に歩かせると、犬は自分がリーダーになったと思い込み、言うことを聞かなくなるので、人の横かやや後ろを歩かせます。犬が先に行く場合は進む向きを変え常に人が前を歩くようにします。それでも犬が引っ張る時は一度立ち止まり、犬が引っ張るのをやめたら再び歩き始めるようにします。引っ張っている間は散歩ができないことを犬に覚えさせましょう。
 - 運動場所は、人通りの多い場所、子供の遊び場、公園などは避け、通学通勤の時間帯をはずすよう心掛けてください。
 - 首輪・胴輪や引き綱は抜けないようにしっかり点検しましょう。
 - ふんは必ず飼い主が始末してください。

★簡単なふんの始末のしかた(例)



●トイレのしつけ

犬は、きれい好きです。ふんや尿をしたくなると独特のしぐさをしますから、見かけたらすぐ犬のトイレに連れて行き、そこでさせます。もし、失敗をしてもしからず、うまくできた時にほめてやります。(むやみにしかつても、隠れてするようになるため逆効果です。)



●かみぐせをつけさせないためには

犬は、いじめられたり、驚いたりしたときにかむことがあります。臆病な犬や興奮しやすい犬ほどかみやすいので、子犬の時からいろいろな人や犬と接する機会を作って、家族以外の人をこわがらないようにしつけ、興奮するくせをつけさせないことです。もし、興奮してかんでしまったら、相手にしないようにします。日ごろから犬を興奮させないように気をつけましょう。

